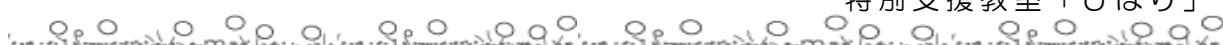




ひばり9 5月号



ひばりの指導が始まりました。

新年度が始まり 1 か月弱、お子さんの様子はいかがでしょうか。お子さんやご家族にとって、進学・進級をして慌ただしい日々が続いたと思います。連休中に少しでもリフレッシュして、また元気に登校してほしいです！

連休明けは、生活リズムを戻すのが大変なお子さんもいると思います。また、行事に向けた練習も始まり、疲れが出始める時期です。ご家庭でいつもと違う様子やお困りのことがありましたら、連絡ファイル等でご連絡ください。



5月の予定

23日（金）運動会リハーサルのため、指導なし
26日（月）運動会振替休業日
29日（木）月曜グループ振替指導日
(木曜グループは、指導なし)

保護者会へのご参加ありがとうございました。
配布させていただいた資料の中で、**一点訂正があります**。年間行事予定の10月14日（火）が九小振替休業日となっていましたが、**通常通り指導があります**。ご確認お願い致します。

◆◇小集団指導の様子（4月の指導から）◇◆

「なかよしカード」

〈やり方〉

- 教室の中を歩き回って出会った人と自己紹介をする。
(クラス・名前・好きな〇〇)
- お互いのカードの自分の名前の欄にシールを貼る。

新しいグループの友達や教員のことを知る良い機会となりました！

子供たちの様子

- シールを貼ってもらうとニコニコ喜ぶ児童が多く見られました。
- 友達や教員の好きなことを知り「同じだね！」と共に感したり、気になって質問したりしていました。

「はさん de 運ぼう」

2人1組になり、スタートからゴールのカゴまでボールを運ぶ活動です。「指先」「手のひら」など、指定された体の部分で、ボールを落とさないように運んでいきます。ゴム制のボールやピンポン玉など運ぶ物のサイズも変わります。2人で話し合ったり協力したりして、力の入れ具合や動く速さを合わせることがポイントです。

子供たちの様子

- ・「せーの！」、「エッホ、エッホ！」とペアで掛け声を言いながら協力して運んでいました。
- ・ペアの友達と息を合わせようと、力の入れ具合を調整したり立ち位置を調整したりする児童がいました。
- ・振り返りでは「簡単だった。」と協力できたことを実感していた児童もいれば、「思っていたより大変だった。」と息を合わせることに苦戦していた児童もいました。

～コラム～ 人それぞれの感覚の育ち

人は五感や体のバランスをとる感覚、動きをコントロールする感覚を持ち合わせていて、バランスよく使いながら生活をしています。感覚の育ちが十分でないと、発達に遅れが生じ、感情や学習態度、生活態度にまで影響を及ぼしてしまうことがあります。そのため、小さいうちから子供の感覚を丁寧に育てていく必要があります。

感覚は外から刺激を受けていて、例えば聴覚でいうと音、嗅覚で言うとにおいが刺激になります。刺激を受け止められる量には個人差があり、受け止められる量が少ない場合、少しの刺激でも許容できる範囲からあふれてしまいます。その結果、「嫌だからやらない」とその感覚に対して逃避や拒否といった行動をとることがあります。反対に受け止められる量が多い場合、刺激が足りていない状態になります。そうすると、別の刺激を求めて動き回ったり机等を叩いたりすることができます。つまり丁度良く刺激を受け止められる感覚を育てていくことが大切です。気になる行動には感覚的な視点で子供を見ると理由があるかもしれません。

ひばりでは、こうした感覚の違いを受け止めながら、誰もがもち合わせている感覚も育していくために日々指導しています。感覚は日々の生活経験の中でも育まれていきますが、多様な遊びの中でより育まれていきます。お家でも学校でも身体をめいっぱい動かしてたくさん遊び、子供たちの感覚を育てていければと思います！

参考図書：「発達が気になる子の感覚統合あそび」

監修者：川上康則 発行者：田村正隆